

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 6 年 10 月 7 日(2024.10.7)

【公開番号】特開 2024-31165(P2024-31165A)

【公開日】令和 6 年 3 月 7 日(2024.3.7)

【年通号数】公開公報(特許)2024-043

【出願番号】特願 2022-134542(P2022-134542)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 9 月 27 日(2024.9.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0 0 0 6】

本発明の代表的な一形態では、ゲームの進行を制御可能な遊技制御手段を備え、ゲームの結果が特別結果となる場合に遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能な遊技機が提供される。遊技機は、遊技球が入賞可能な特定領域を備える。特別結果は、第 1 特別結果と第 2 特別結果とを含む。特別遊技状態は、第 1 特別遊技状態と第 2 特別遊技状態とを含む。遊技制御手段は、ゲームの実行権利として始動記憶を記憶可能であり、ゲームの結果が第 1 特別結果となった場合に第 1 特別遊技状態を発生可能であり、ゲームの結果が第 2 特別結果となった場合に第 2 特別遊技状態を発生可能であり、第 2 特別遊技状態のときに特定領域に遊技球が入賞した場合に第 1 特別遊技状態を発生可能であり、通常遊技状態よりも実行権利が発生しやすい特定遊技状態を第 1 特別遊技状態の後に発生可能であり、特定遊技状態は、第 1 のゲーム回数だけ継続可能な第 1 特定遊技状態と、第 1 のゲーム回数とは異なる第 2 のゲーム回数だけ継続可能な第 2 特定遊技状態とを含み、第 1 特定遊技状態のときにゲームの結果が第 2 特別結果となる場合と、第 2 特定遊技状態のときにゲームの結果が第 2 特別結果となる場合とで、第 1 特別遊技状態の後に発生可能な特定遊技状態の振分における振分態様を異ならせることを可能とし、特定遊技状態において第 2 特別遊技状態が発生したときに遊技球が特定領域に入賞しなかった場合に、特定遊技状態を終了する。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

40

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ゲームの進行を制御可能な遊技制御手段を備え、前記ゲームの結果が特別結果となる場合に遊技者に有利な特別遊技状態を発生可能な遊技機において、
遊技球が入賞可能な特定領域を備え、
前記特別結果は、第 1 特別結果と第 2 特別結果とを含み、
前記特別遊技状態は、第 1 特別遊技状態と第 2 特別遊技状態とを含み、
前記遊技制御手段は、

50

前記ゲームの実行権利として始動記憶を記憶可能であり、
前記ゲームの結果が前記第 1 特別結果となった場合に前記第 1 特別遊技状態を発生可能であり、
前記ゲームの結果が前記第 2 特別結果となった場合に前記第 2 特別遊技状態を発生可能であり、
前記第 2 特別遊技状態のときに前記特定領域に遊技球が入賞した場合に前記第 1 特別遊技状態を発生可能であり、
通常遊技状態よりも前記実行権利が発生しやすい特定遊技状態を前記第 1 特別遊技状態の後に発生可能であり、前記特定遊技状態は、第 1 のゲーム回数だけ継続可能な第 1 特定遊技状態と、前記第 1 のゲーム回数とは異なる第 2 のゲーム回数だけ継続可能な第 2 特定遊技状態とを含み、
前記第 1 特定遊技状態のときに前記ゲームの結果が前記第 2 特別結果となる場合と、前記第 2 特定遊技状態のときに前記ゲームの結果が前記第 2 特別結果となる場合とで、前記第 1 特別遊技状態の後に発生可能な前記特定遊技状態の振分における振分態様を異ならせることを可能とし、
前記特定遊技状態において前記第 2 特別遊技状態が発生したときに遊技球が前記特定領域に入賞しなかった場合に、当該特定遊技状態を終了する、
遊技機。

10

20

30

40

50